

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	インフルエンザ予防接種費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	19,817	17,530		18,079			18,079	1,738
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	3,764						3,764
	一般財源	16,053	17,530		18,079			18,079

事業概要	インフルエンザの予防接種が高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることから、65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある人を対象に、インフルエンザ予防接種を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	インフルエンザの予防接種を促進することにより、高齢者の発病防止や特に重症化を防止し、高齢者の健康の保持を図る。		
現状と背景	平成19年度においては対象者9,049人中、接種者5,803人、接種率は64%余であり、接種率は近年、上昇傾向にある。		その他

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	結核予防費(健康長寿課)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	733	729		729			729	4
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	733	729		729			729

事業概要	40才以上の市民を対象とし、胸部レントゲン撮影による集団検診を行うことで、結核の早期発見に努める。	今年度見直し事項	
事業目的	新しい結核患者発生を未然に防ぎ、結核の早期発見・早期治療につなげる。		
現状と背景	結核の患者数は近年減少傾向にあるが、県内でも結核の罹患は毎年あり、特に高齢者が多いのが現状である。		

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	環境防災課
事業名	狂犬病予防事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	176	188		188			188	12
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	176	188	188			188	12
	一般財源	0	0	0			0	0

事業概要	狂犬病予防法に基づき、毎年4、5月に狂犬病予防集団注射を公民館等で実施。新規登録、死亡、登録事項の変更、鑑札・注射済票の発行、再発行手続きは随時行っている。	今年度見直し事項	
事業目的	狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上を図る。		
現状と背景	近年、室内犬が増加しており、飼い主の認識不足等で予防注射をしない犬が増加傾向。接種率の向上に努める。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	BCG接種事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	746	1,404		1,404			1,404	658
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	746	1,404		1,404			1,404

事業概要	子どもの結核を予防することで、子どもの健康の保持増進を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	BCG接種は肺結核を防ぐ効果があり、重篤な結核症である乳幼児期の髄膜炎や粟粒結核に対して高い有効性が認められている。特に乳幼児が結核に感染するとこのような重症の結核になり易いので、BCG接種を受けることが大切となる。		
現状と背景	結核の患者数、死亡者数は、近年、急速に減少してきたが、依然国際的には日本は他の先進国に比べ罹患率が高い状況にある。		

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	予防接種費(子育て支援課)
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	29,295	35,299		34,051			34,051	4,756
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	29,295	35,299		34,051			34,051

事業概要	子どもの感染症を予防することで、子どもの健康の保持増進を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	予防接種は体の中に免疫抗体を作り、感染症予防、発病予防に高い有効性が認められている。特に定期の予防接種は、感染すると重症化、蔓延化しやすい疾患の予防のためであり、予防接種を行うことにより乳幼児の健全な成長発達を図ることができる。		
現状と背景	定期予防接種により感染症の患者数、死亡者数は減少してきたが、近年麻疹の発生予防に十分な抗体を有していない年代に麻疹の流行が起きた。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	子育て支援課
事業名	小児インフルエンザ予防接種助成事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	2,074		0	2,074		2,074	2,074
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	0				520	520	520
	一般財源	0	2,074		0	2,074	520	1,554

事業概要	就学前の子どもの保護者に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患と重症化を予防する。	今年度見直し事項	
事業目的	新型インフルエンザの流行も怪訝される今日、感染力も強く、重症化しやすい疾患を予防するための注射を、より接種しやすい環境をつくることで、子どもの健康管理の強化を図る。		
現状と背景	任意接種のため、接種率の把握は出来ていないが、高率ではないことが伺える。集団でのインフルエンザも発生している。		

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康長寿課
事業名	新型インフルエンザ対策事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	1,250		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	1,250		0			0

事業概要	新型インフルエンザの発生時に備え、消毒作業等感染の可能性のある業務に従事する職員の感染予防に必要な防護具・衛生材料等を3ヵ年で備蓄し、感染拡大の防止と社会機能の維持を図る。	今年度見直し事項	
事業目的	新型インフルエンザとは、新たなウイルスが原因で発症するため、発生時の人的、社会的被害は大きい。感染拡大を最小限に食い止め、社会機能を維持するための活動に必要な資材を備蓄する。		
現状と背景	現在、国の策定したガイドラインや県の策定した対応マニュアルなどをもとに、「境港市新型インフルエンザ対応マニュアル」の策定に取り掛かっている。	その他	